

一般社団法人

浜松市獣医師会 NEWS

2015
— Summer —



動物を通じて地域に貢献できる事業を行って参ります。

一般社団法人浜松市獣医師会は、平成24年1月に設立された団体です。現在、浜松市及び湖西市で動物病院を開業している獣医師を中心に、76の個人または法人が会員になっています。

大きな目的として、地域への社会貢献を掲げています。そのために、以下に記しましたように、市民の皆様のための事業を行っています。

今年の2月には、動物を飼ってらっしゃる市民の皆様が参加する「動物の防災セミナー」もエネジン株式会社のご協力も得て開催しました。多くの方にご参加いただき、ありがとうございました。

今年度はさらに地域に貢献すべく、11月に「動物と人の健康を守るために」と題して、市民の皆様も参加できるセミナーを開催することになりました。是非、多くの方々のご参加をお待ちしております。

当会は、今後とも地域に貢献できる事業を行って参ります。ご支援のほど、よろしくお願いいたします。



一般社団法人 浜松市獣医師会
会長理事 木俣 新

「動物と人のがんを知ろう」

日時 平成27年11月29日(日) 12時 会場 グランドホテル浜松

石田卓夫先生、小林哲也先生、医師の渡辺亨先生をお招きして、獣医師向け・看護師向け・一般市民向けのセミナーを行います。その他にも皆様に喜んでいただける内容を企画中！



獣医師会の取り組み内容《その1》



私たちは「地域と繋がり、地域に貢献」、そんな気持ちで次に紹介する事業に邁進しております。

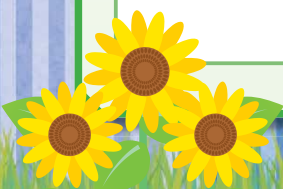
補助犬健康診断への歩み

桜が咲きはじめる頃、私たち獣医師会が力を合わせ補助犬健康診断に当たります。今年で31回と言う長きに渡り継続し、検査内容も常にバージョンアップして充実させています。



狂犬病予防事業

古くから知られ恐れられているペットと人の共通伝染病です。致死率ほぼ100%とても怖い病気です。しかし、私たち獣医師が狂犬病予防ワクチン接種の徹底を努力した結果、日本において狂犬病の撲滅に成功しました。しかし、近年このワクチン接種率は低下しており、再流行の懸念も拭えません。この様な中、浜松市獣医師会では行政委託の一環として春に狂犬病予防接種を行っています。大切なペットの命を守るためにも！



ペットと快適な暮らし

住環境を整えることで、
ペットも住みやすい暮らしを！

お客様とペットがお互いに気持ちよく暮らせる快適な空間を実現するために、床・壁材の選び方をはじめ、ペット専用の出入口やゲート、シャワー設備、ドッグランやキャットウォークなど、お客様とペットにとって、より快適な暮らしを送る方法が多数ございます。気になる点は、お気軽にご相談ください！



犬の熱中症・夏バテにご注意を！



暑くて湿度も高い日本の夏は、愛犬にとって、心身のストレスを感じる季節。夏の間体調不良である夏バテや、命の危険もある熱中症についてご紹介します。対策を万全にして、愛犬と元気に夏を乗り切りましょう！

◆熱中症になりやすい犬

<p>寒い地域 原産の犬</p> <p>シベリアンハスキーやサモエドなど生まれつき暑さに弱い性質。</p>	<p>短頭種 の犬</p> <p>シーズーやフレンチブルドッグなど、もともと気道が狭く呼吸がしにくい。</p>	<p>大型犬</p> <p>肺が大きく、空気を吸う量も多いため、吸った熱い空気で体温が上がりやすい。</p>
<p>室内飼いの 犬</p> <p>年中温度や湿度に保たれた部屋で生活しているため、暑さに弱い傾向がある。</p>	<p>シニア犬</p> <p>老化現象で血液循環の悪化など、体温調整がうまくできないことがある。</p>	<p>肥満の犬</p> <p>皮下脂肪のため気管の圧迫など、熱の発散がうまくできない傾向にある。</p>

◆熱中症と夏バテの違いって？

	熱中症	夏バテ
体温急上昇。機能不全。死の危険も。	体調不良。持病を悪化させる原因にも。	
なりやすい環境	●高温多湿 ●風通しが悪い	●屋内と屋外の温度差が大きい ●犬が不快に感じる暑さや湿度が何日も続く ●犬がストレスを感じている
症状	●体が熱くなる ●ハアハアと呼吸が荒くなる ●口を開け、舌が出る ●ぐったりしたり、嘔吐する	●元気がない ●食欲がなくなる ●下痢をする

◆熱中症・夏バテを防ぐ生活習慣！

<p>食事</p> <p>トッピングやウェットフードで食欲をアップさせましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 肉スープ+ドライフード 水+ドライフード ウェットフード <p>バテぎみの時はかたいフードよりやわらかいフードが食べやすい！</p>	<p>水分補給</p> <p>冷たい新鮮な水をこまめに与えてください。</p> <p>暑い時は水も腐りやすいので、犬の飲み水は一日数回は替え、新鮮なものに。常温でもよいですが、冷蔵庫で冷やした水や、細かく砕いた氷、氷のブロックなら尚クールダウン！</p>	<p>犬のいる部屋</p> <p>犬にとって快適な温度・湿度 《温度》26℃前後 《湿度》50～60%</p> <p>クーラーの風が犬の体に直接当たらないように調整しましょう。</p>	<p>夜、寝るとき</p> <p>犬が好きなきときに涼める場所を作りましょう。</p> <p>比較的涼しい夜などは人は快眠中でも、犬には暑く感じる事があります。部屋に保冷剤などを置いておくと、犬が自由に涼めます。保冷剤はじかて無く、缶に入れたタオルでくるんでください。</p>
--	--	---	---

夏のシャンプーはしっかり地肌から！

暑くて湿気の多い季節は、人のように犬も皮脂が多く分泌されます。ベタついた部位には雑菌が繁殖しやすく、皮膚トラブルやニオイの原因にもなります。触ったときのベタベタする感触や犬特有のニオイ、ホコリっぽさをかじたら、地肌洗いを意識してシャンプーを行いましょう。

